

取得可能な資格

- ◆全商英語検定
- ◆実用英語検定
- ◆日本漢字能力検定
- ◆硬筆書写技能検定
- ◆毛筆書写技能検定
- ◆毒物劇物取扱責任者
- ◆危険物取扱者
- ◆測量士補
- ◆レタリング技能検定
- ◆トレース技能検定
- ◆商業経済検定
- ◆簿記実務検定
- ◆簿記検定
- ◆簿記能力検定
- ◆珠算検定
- ◆電卓実務検定
- ◆秘書技能検定
- ◆小売商（販売士）検定
- ◆ワープロ実務検定
- ◆情報処理検定
- ◆情報処理能力検定
- ◆コンピュータ利用技術検定
- ◆被服制作・食物調理
- ◆全国高等学校「保育」技術検定
- ◆ホームヘルパー認定
- ◆学校教育和服着装
- ◆ガス溶接・アーク溶接
- ◆小型車両系建設機械等



「情報基礎」の授業風景

進学、関連企業等への就職に適した科目を多く設定しています。

情報メディア系列

コンピュータ等のOA機器についての操作方法をはじめ、自由に操作できる技術を身に付けるとともに、音楽や映像などメディアに対応できる技術にも触れます。また、情報等に関する資格取得、情報関連校への進学、関連企業等への就職に適した科目を多く設定しています。

福祉教養系列

実習を中心とした学習を通して、福祉、看護、保育等に関する知識や技術を身に付けます。また、福祉等に関する資

格取得、福祉関連校への進学、関連企業等への就職に適した科目を多く設定しています。

(2) 特色ある選択科目

百二十科目以上に及ぶ選択科目の中には、新しい科目も含め、次に挙げるような特色ある科目を設定しています。

◆体験学習を重視する科目

社会福祉演習、情報メディア演習、建設現場演習など

◆外部講師を活用する科目

産業社会と人間、基礎看護、看護基礎医学、社会福祉実習、生活教養など

◆地域密着型の科目

観光農業、郷土文化、天文、気象など

自分はどのような生き方をしたいなどについて深く考えさせ、正しい職業観や強い進路意識を育てようとする科目です。

外国人留学生をはじめとする様々な社会人講師による講演会、企業等における職場見学や体験学習、調査研究や意見発表会、二年次以降の科目選択などを内容として、週二時間、複数の教員の指導で行っています。

勤労体験学習では、生徒たちは約二十か所の企業や公共団体にお世話になり、有意義な体験をしています。

四 総合学科の現況

(1) 産業社会と人間

生徒たちは、自己の将来を見据えながら、毎日の授業、特別養護老人ホームや各種企業での体験実習などを通して、自己実現のために、総合学科一期生としての地歩を着々と固めつづけています。

この科目は、現在、一年次生が履修していますが、高校卒業後、



産業社会と人間（老人ホーム見学）